

基本施策評価シート

基本施策最終評価
B

基本施策通し番号 15

基本施策 幹線道路網の整備

構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	国道158号の整備促進	C
施策2	国道157号大野バイパスの整備充実	A
施策3	国道476号や主要地方道などの整備促進	A

成果指標

指標	内容	令和2年度 目標	令和2年度末 実績	単位	令和2年度の成果の検証
国道158号境寺・計石間の供用開始	境寺・計石間の全線供用開始	供用開始	詳細設計、 用地取得、 道路改良 工事	-	用地取得を終えた大宮町地係などにおいて、1橋の橋梁工事が完了し、2橋の橋梁工事が施工され進捗が図られた。
西部アクセス道路の供用開始	西部アクセス道路の供用開始	供用開始	供用開始	-	平成30年9月に犬山交差点から亀山西までが供用開始されたことで、中心市街地へのアクセスが向上した。
都市計画道路中保中野大橋線の整備	中挾交差点から国道157号までの県道整備事業着手	事業化	事業化	-	令和2年7月に事業化され、整備着手された。

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は大野市と福井市を結ぶ通勤や物流、防災、救急救命上重要な道路であり、朝夕の渋滞緩和や安全・安心の確保のため、一日も早い整備が求められている。 ・国道157号大野バイパスは、大野インターチェンジから市街地への交通を分散導入させるとともにスムーズに中心市街地へ誘導するための重要道路であり、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の平成28年度の供用開始に合わせた整備が必要である。 ・国道476号西部アクセス道路は、福井方面からの交通を市街地に誘導するために重要な道路であり、早期の整備が必要である。 ・(都)中保中野大橋線については、事業未着手であり、早期の事業化が必要である。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号境寺・計石間の一日も早い整備、国道157号大野バイパスの中部縦貫自動車道永平寺大野道路の平成28年度の供用開始に合わせた整備、国道476号の早期の整備が必要である。

社会情勢・市民ニーズの変化

・中部縦貫自動車道の(仮称)和泉IC～(仮称)油坂出入口間が令和8年春の開通見通しが示されたことにより、一般国道157号大野バイパスから市街地へのアクセスルートとなる一般県道皿谷大野線の中挾交差点までの早期完成が求められている。

現在の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は大野市と福井市を結ぶ通勤や物流、防災、救急救命上重要な道路であり、朝夕の渋滞緩和や安全・安心の確保のため、一日も早い整備が求められている。 ・国道157号大野バイパスは、未整備区間であった中保・吉間約1.1キロメートルが平成28年9月に完成し、国道157号バイパス全長4.6キロメートルが全線供用開始となっている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号境寺・計石間の速やかな用地取得と本格的な工事着手が重要である。

基本施策の「成果」

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得を終えた大宮町地係などでは、盛土工事や羽生川に架かる橋梁3箇所のうち1箇所が完成し、2箇所で橋台工事が進められている。 ・(都)中保中野大橋線は、一般県道皿谷大野線の道路改良事業として令和2年7月に事業化された。
-----	--

改善点

・国道158号境寺・計石間については、早期に用地取得を完了するとともに着実に整備を促進する。また、引き続き国道158号改修促進期成同盟会や福井市と連携して、県に早期完成を働きかけていく。